

出演者 曲目等

	氏名・グループ名	期	出演者 曲目	※応援出演
1	サンサンオールスターズ KKKS	33	小池和正 Gt Pf Cho 白倉 明 Caj Perc Cho ※川島亮太郎 Bass Cho・川島久美子 Vo ①青春の輝き(作詞・作曲 リチャード・カーペンターとジョン・ベティス、アルバート・ハモンド) ②Joy to the world(作詞・作曲 ホイト・アクストン) ③TODAY (作詞・作曲 スパークス・ランディ)	
2	Happy Hours (ハッピー泡ース) Barbershop Quartet	25	福家貴子 ※谷口小夜子・石井庸子・宮川比呂子 ①ロコモーション words by G.Goffin/music by C.King/arr by T.Fuke ②I've Told Ev'ry Little Star words by O.Hummerstein/music by J.Kern/arr by T. Fuke ③59番街橋の歌 words & music by P.Simon/arr by M.Bailey ④ダイヤモンドズ words by K.Nakayama/music by K.Okuyama/arr. by T. Fuke	
3	川畑ユリ子	18	ピアノ演奏 ①春に寄す(グリーク) ②トルロドハウゲンの婚礼の日(グリーク) ③シェイクスピア“嵐”の付帯音楽より 妖精の踊り(シベリウス)	
4	寒河江淳二 ※豊崎知子(Pf)	18	独唱 ①帰れソレントへ ②あの人に告げてよ	
5	山元良平 ※豊崎知子(Pf)	21	バリトン独唱 ①楽に寄す/シューベルト ②理想/トスティ ③プロヴァンスの海と陸 歌劇椿姫より/ヴェルディ	
6	指原建司、前田真理子 ※豊崎知子(Pf)	18	バリトン独唱 指原建司、デュエット 指原建司/前田真理子 ①独唱 R.シューマン作曲 歌曲集「詩人の恋(H.ハイネの詩集より)」12番：あかりさす夏の朝に、13番：僕は夢の中で泣いた、②デュエット Somewhere” /L.バーンスタイン作曲、S.ゾンダイン作詞、「ウエストサイドストーリー」から	
7	辻重雄と仲間たち	28	弦楽器とピアノのデュオ 辻重雄(Pf) 泉澤恭子(Vc) ※辻 有砂(Vn) ①ブレバル/チェロソナタ ②グリーグ/ヴァイオリンソナタ c-moll 第二楽章	
休憩 10分 (14:23-14:33 予定)				
8	関谷左知子	27	日本舞踊 ※高橋幸恵・宇田川弓 (三味線弾き唄い) ①端唄(はうた)『深川節』(藤本琇丈ふじもとひでお編曲) ②長唄『豊の春』(初代杵屋六之助1845年作曲) ③福岡県民謡『黒田節』(藤本琇丈編曲)	
9	堀川真吾	67	合奏 堀川真吾(Pf、Bass) 水野幸大(津軽三味線) Storm (作曲：吉田兄弟)、縁の詩 (作曲：上妻宏光)	
10	アンサンブル・ヴェンティ	20	歌と楽器のアンサンブル 隠岐徹(Vo) 尾曾越俊邦(Vo) 杉浦由雅(Vo・Vc) 永井祥一(Vo) 渡部誠(Vo) 内田恵理子(Vo) 児玉真治子(Vo) 松本優美子(Vo) 井上昭史(FI) 平林明子(Pf) ①手を取りあって(オペラ「ドン・ジョヴァンニ」より)(モーツァルト 作曲 平林明子 編曲) ②白いブランコ(小平なほみ 作詞 菅原進 作曲 平林明子 編曲) ③高校三年生(丘灯至夫 作詞 遠藤実 作曲 平林明子 編曲) ④民衆の歌(ミュージカル「レ・ミゼラブル」より)(平林明子 編曲)	
11	18期音楽隊	18	グループ斉唱&楽器演奏 前田真理子(Pf) 島津俊男(Vc) 栗田健一(Vc) 株本武(FI) 入江潔(オカリノ) 宗像健志(Rec) 前田(高橋)真理子(Pf) Cho:中嶋弘明 前田達夫 藤林(森)幸子 岡田純 井口俊明 川島美彦 山下(伊庭)典子 小安亮 寒河江淳二 指揮：指原建司 ①学生時代(平岡精二 作詞 作曲) ②高校三年生(遠藤実 作曲 岡灯至夫 作詞) ③いい日旅立ち(谷村新司 作詞 作曲)	
12	渡邊カズ	53	ピアノ弾き語り ①サン・ステーション(作詞作曲：渡辺カズ) ②Fly Away(作詞作曲：渡辺カズ)	
13	西高混声合唱団		混声合唱 指揮者:黒田彰(27期) ピアノ伴奏:平山美帆子(27期) コーラス団員 ソプラノ:小林和子(12期) 長谷川明子(19期) 広島絵里子(21期) 山本由紀子(21期) 富山優子(24期) 野村麻里(24期) 中野恵美子(33期) 佐藤良枝(PTA) 成田万波(PTA) 山田祐子(PTA) 石井由貴子(紹介) アルト:高島節子(12期) 荒井佐代子(19期) 高橋比呂(24期) 三好貴子(24期) 山口由美子(元教員) 斎藤尚美(紹介) テノール:春木健一郎(6期) 笠原哲(8期) 田村和寿(12期) 萩原愛一(21期) 石井隆志(24期) バス:重信史郎(9期) 新聞泰弘(12期) 土肥一忠(15期) 倉林公夫(19期) 北島隆司(24期) ①わたりどり 大中恩 作曲 北原白秋 作詞 ②荒城の月 滝廉太郎 作曲 土井晩翠 作詞 増田純平編曲 ③永遠の花 John Rutter 作曲・作詞 訳詞 Takako Helbig	

14	都立西高OB吹奏楽団	吹奏楽 Fl 古谷俊明(20期)・家入知子(35期) Cl 川村泰(40期) Sax 渡邊春萌(71期) Trp 松田雅明(61期)・清水莉沙(64期)・谷垣結生(71期) Hr 安島裕恵(39期)・福下英毅(44期)・佐藤陽(68期) Trb 田中信大(46期)・矢作成美(65期) Euph 竹端博一(46期) Tuba 小山暁久(63期) ①アルセナール 作曲：ヤン・ファン＝デル＝ロースト ②金管アンサンブル「三匹の猫」から 作曲：クリス・ヘイゼル
15	学友歌	吹奏楽 全員斉唱

出演者紹介

1	サンサンオールスターズ KKKS 西高33期メンバー（小池和正 白倉明）を中心に、大学時代のバンドメンバー（川島亮太郎 川島久美子）を加えて、コーラスを中心にリアレンジしたポップスミュージックを歌と演奏でお送りいたします。
2	Happy Hours (ハッピー泡ーズ) Barbershop Quartet 私たちはBarbershop(バーバーショップ) を楽しむアカペラのカルテット、ハッピーアワーズです。4人の声ピタッとハマり倍音が聞こえたとき（バーバーショップの世界ではRINGする、と言います）が私たちのハッピーアワーズです。もちろん漢字で書く泡のつく飲み物も大好きですけれどね。バーバーショップでは女声でも上からテナー、リード、バリトン、ベースというパートの呼び方をします。各パートが複数になればコーラスとなります。日本でもいくつかのバーバーショップコーラスが活動しています。その中で福家が指導しているコーラスがDIVA（ディーバ）です。興味を持たれた方はウェブサイトをご覧ください。
3	川畑ユリ子 四年程前に右肘骨折、以降リハビリの一助としてピアノに向かう。リハビリ当初の目標はクリアしたのですが、依然継続中。不自由な体が徐々にリハビリで回復していくこれは生命の不思議でした。この間に会った皆様に感謝をこめて演奏します。北欧の空気を表現できれば幸いです。
4	寒河江淳二 ※豊崎知子(Pf) 私のカンツォーネの愛唱歌から2曲お届けします。いずれも甘い調べの中に情熱溢れる曲です。ピアノ伴奏はいつもお願いしている17期の小池陽子さんのご都合が悪く、小池さんと同じエフゲニー・ザラフィアンツ門下の豊崎知子さんをご紹介いただきました。
5	山元良平 ※豊崎知子(Pf) 西高21期の山元良平と申します。西高の時は合唱部に所属していました。社会人になってからは歌とは遠ざかっていましたが、還暦近くになって歌への思いがよみがえり、現在武蔵野音楽大学別科というところで声楽の勉強をしています。アマチュアのコンサートやコンクールに出演しています。今回は皆様方になじみのあるシューベルトとトスティの歌曲そしてヴェルディのオペラのアリアを歌わさせていただきます／本日、伴奏を担当いたします、豊崎と申します。ドイツ在住時フランクフルト音楽大学I.Edelstein教授より指導を受ける。その間、ヨーロッパ各地(フランス、チェコ等)でマイスターコース受講。現在はロシア人ピアニスト エフゲニー・ザラフィアンツ氏より指導を受ける。
6	指原建司、前田真理子 ※豊崎知子(Pf) 西高ホームカミングデー第一回コンサートに出演、昨年の第六回コンサート出演を機にKenとTakaとして活動することにしました。今年はTakaの体調が優れず、伴奏を17期小池さんと同じエフゲニー・ザラフィアンツ門下の豊崎知子さんをお願いしました。曲目はピアノ伴奏が美しいシューマンの「詩人の恋」の中から失恋物語のピークになる2曲と私たちの高校時代に上映されたウエストサイドストーリーの興奮を思い出し、その中で主人公のTonyとMariaが歌う「Somewhere」を同期の前田真理子さんとのデュエットで歌います。
7	辻重雄と仲間たち 1Cで同級生だった私と泉澤さんですが、同期会が縁で卒業後30年ぶりに再会。その後、友人たちと年に1回、懇親会を開くようになりました。私と妻とは年に2回ミニコンサートを催しているのですが、泉澤さんにゲスト出演していただいたご縁で、今回、エントリーすることになりました。プレバルはチェロの曲のみを書いたフランスの作曲家。とてもお洒落なバロック風の曲です。ちなみに、バロックとは「ゆがんだ」とか「いびつな」という意味。バッハ以前の作曲家たちの「調和と幻想」に対峙するものです。北欧の透き通るような蒼い空を髣髴とさせてくれるグリーグの曲とともに楽しみください。
8	関谷左知子 ①江戸時代、猪牙（ちよき）船で深川へ、駕籠で吉原へ遊びに行く②「明けて豊かの文売り(江戸時代：京都で正月、花の枝に付けた懸想文を売り歩いた)も、あちらこちらで呼び招く、年の吉事を商うて、四方のお方の御鼻屑を、独りぎわめもあんまりな。小原の酒に解け心、ふっと匂うが梅が香や、水にも映る青柳の、風が誘うて乱れ髪、誰も好いと捨て言葉、みんな出雲の神さんが、結びおさめし縁づくは、好いた同士じゃないかいな。床に掛けたる蓬菜も、鶴と亀との離れぬ仲は、幾年変わらぬ歯固めて(歯は齢の意味で長寿を願う行事)老いの白髪とめでたけれ」初春の長閑さを唄った曲③ I 黒田藩家臣母里太兵衛が秀吉の臣福島正則に勧められ禁を破って酒を飲み名槍日本丸をもらい受けた。II『平家物語』高倉天皇の愛人小督が中宮の父平清盛にうとまれて嵯峨野に身を隠す。尋ねあぐねた源仲国に小督の弾く琴の音が聞こえる。

9	<p>堀川真吾</p> <p>67期卒業生らによって構成された、日本発の津軽三味線と西洋発のピアノによる異色コラボユニットです。1曲目の「Storm」は三味線奏者としても有名な吉田兄弟の楽曲で、緊張感のある三味線とピアノの駆け引きが繰り広げられます。2曲目の「縁の詩」はテレビ番組「和風総本家」のテーマ曲でもあり、三味線の奏でるゆったりとした美しいメロディが特徴的です。どちらも見所満載となっておりますので、ぜひご期待ください。じつに3年ぶりの出演とあって、2人とも気合いも十分です！異色の楽器コラボをお楽しみください。</p>
10	<p>アンサンブル・ヴェンティ</p> <p>10年程前に西高20期生が集まって結成したグループで、イタリア語で「20」を意味する「ヴェンティ」と名付けました。現在はメンバーの友人や家族も加わり、22名の大所帯で毎月一回の親睦飲み会付き練習を楽しんでいます。素晴らしいチームワークが誇りで、年3～4回の本番もこなしています。本日は全員20期生による演奏で、編曲もすべてピアノ担当の平林さんによるものです。バラエティーに富んだプログラムをお楽しみください。毎月第3木曜日 17：45～20：15 高田馬場駅近くのスタジオで、様々なジャンルの曲を練習しています。20期以外の方も大歓迎ですので、ご興味のある方はお問い合わせください。 ma29kodama.ma@jcom.zaq.ne.jp（児玉）</p>
11	<p>18期音楽隊</p> <p>18期音楽隊は今年に入ってから結成されました。私たち18期は年に3回の定例会（ワシントンホテル内レストラン等）、年2回のハイキング、2年に一回の同期会というように、度々顔を合わせており、楽しい時間を共有しております。そのような中で、今回のホームカミングデーでは、是非出演してみようということになりました。先月行いました18期同期会で初出演、そして今回は2回目と私たちが高校生の青春真っただ中の頃の懐かしい曲をお送りいたします。練習不足は否めませんが、一生懸命演奏しますので、一緒にお楽しみ頂ければ幸いです。</p>
12	<p>渡邊カス</p> <p>53期の卒業生で、在学中に「サークルシブ楽隊（現：シブ楽同好会）」を結成し、初代隊長として、当時仲間たちとアコースティックギター弾き語りによるゲリラライブを中心とした活動をよく行っておりました。西高HCDには記念すべき第一回に出演をさせて頂いておりましたため、それを繋がり今回お声がけ頂き、再度出演させて頂けることとなりました。母校の校舎を懐かしく思いつつ、高校時代の私の音楽への情熱は今もほとんど変わっていないことを感じております。</p>
13	<p>西高混声合唱団</p> <p>西高混声合唱団は日比谷公会堂での「東京校歌祭」に出演した都立西高同窓生が中心となり、2000年に 榊原侏一先生（1期）を指揮者にお迎えし、「西高同窓会合唱団」として発足致しました。2002年より現名称に改めメンバーを 西高同窓生だけでなく西高関係者に拡大し、2005年には 黒田彰先生（27期）のご指導に替り、頭声発声の徹底指導を受けながら練習を重ね、2012年3月11日には震災後の東北に思いを寄せて祈念演奏会を開催し、2015年の結成15年記念演奏会ではフォーレの「レクイエム」を弦楽四重奏の伴奏を入れて演奏致しました。本日は大中恩先生の名曲の他、いつまでも歌い継いでいきたい曲を心を込めてお届け致します。</p>
14	<p>都立西高OB吹奏楽団</p> <p>都立西高OB吹奏楽団は20期から71期までの吹奏楽部OBが所属し、年1回の演奏会と西高の夕べでの演奏を中心に活動しております。今年は第41回演奏会を10月13日（日）杉並公会堂 大ホールで開催します。曲目はディベルティメント（ヴェースピ作曲）といった大曲を中心に吹奏楽のオリジナル曲の魅力を余すところなくご紹介いたします。是非ご来場ください。今回のホームカミングデーではベルギーの作曲家ヤン・ファン＝デル＝ローストの手になる軽快なマーチと自身の飼い猫を題材にしたクリス・ヘイゼルの「三匹の猫」お送りします。</p>